

麦の生育と管理

令和5年2月号
大分県北部振興局集落営農・水田畑地化班

◎麦踏みと土入れ

- ・麦踏みと土入れは、様々な効果があります。
- 過湿土壌で麦踏みをする、土が締まることで通気性が低下し、根の活性を阻害し、根にストレスがかかります。
- 圃場が乾いているときに（湿田では軽めに）行いましょう。
- ・土入れでは、土をかけ過ぎると生育抑制が強くなりすぎて減収しますので土のかけすぎに注意しましょう。
- 多湿圃場での土入れはやめましょう。
- 生育過剰の際は、麦踏み、土入れとも回数を増やしてください。



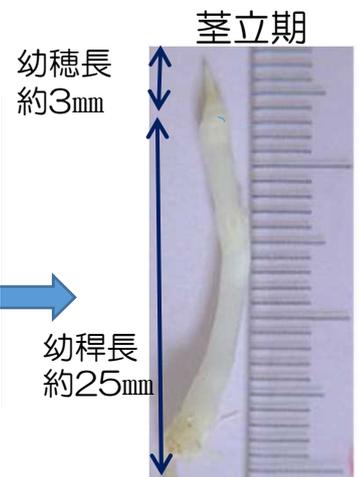
	作業時期	作業回数	注意事項
麦踏み	麦の 3葉期～ 茎立期	3～4回	作業は土が乾き、 ローラーに土が付かない時に 実施。
土入れ	麦の 4葉期～ 茎立期	2回	作業は土が乾いたときに実施。 1回目は土を薄くかける。

◎茎立期の穂肥で収量アップ！

- ・穂肥には幼穂の健全な生育を促し、子実重を増やす効果があります。

10aあたり穂肥の施肥量（例）

麦の種類	窒素量	化成肥料	施用
		16-0-16	時期
大麦、裸麦、 小麦（チクゴイズミ）	3kg/10a	15kg /10a	茎立期 （幼穂長 20mm頃）
小麦〔パン用〕 （はるみずき）	5kg/10a	30kg /10a	〈2月下旬頃〉



◎排水対策 ～雨が止んだ時がチャンス～

- 額縁の四隅や排水口等を繋げ、ほ場の外に水を出しましょう。
- この作業は降雨後がオススメです。滞水している場所が一目で確認できます。
- 畦間と額縁排水溝をつなげることで、水が畦間を流れ、十分に排水できるようになります。
- 額縁排水溝と畦間、排水口を連結し、確実にほ場外へ排出しましょう。

農業情報メール配信の登録募集！ 米・麦・大豆の栽培管理情報をお知らせします。

- ・登録は無料ですが、メール着信時に通信費がかかります。
- ・携帯電話・スマートフォンの受信拒否設定を解除して登録を行ってください。
- ☆登録方法 配信受付アドレス syuraku-hokubu@pref.oita.jp 件名または本文に氏名を記入して、配信受付アドレスにメールを送信してください。差出人のメールアドレスに農業情報を配信します。

◎雑草対策 生育期の除草適期について

- ・生育期除草剤は、雑草が大きくなる前にタイミングを逃さず散布しましょう。
- ・雑草が繁茂すると収量や品種の低下を招きます。
- ・特に、カラスノエンドウ等の種子の混入には注意しましょう。

◎除草剤の使用ポイント

- ・毎年同じ薬剤を連続して使用しない！
- ・散布直後の雨に注意！
雨が降ると除草剤が効きにくくなります。
- ・気温が上昇する(気温20℃以上)と、薬害のリスクが高まります。
- ・天気予報や土壌水分を確認して散布しましょう。



スズメノテッポウ
(5葉期頃)

ヤエムグラ
(4節期頃)

生育期除草剤

薬剤ごとに使用時期、使用回数が異なります。
ラベル等をよく読み使用しましょう。いずれの雑草も発生初期に防除しましょう。

薬剤名	ハーモニ-75DF水和剤	MCPソーダ塩	バサグラン液剤
適用雑草・ 散布適期	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ5葉期まで カズノコグサ1~3葉期	一年生及び 多年生広葉雑草	畑地一年生雑草 (イネ科を除く) 雑草の3~6葉期
	※注1) ハーモニ-抵抗性スズメノテッポウには効果なし。	※注2) アクチノールの代替薬剤。バサグランとの混用散布可。	
使用時期	小麦 は種後~穂ばらみ期 (但し収穫45日前まで) 大麦 は種後~節間伸長前	幼穂形成期 但し収穫45日前まで	小麦 収穫45日前まで 大麦・裸麦 収穫90日前まで
使用量	5~10g/10a	200~300g/10a	100~200ml/10a
希釈水量	50~100ℓ/10a	70~100ℓ/10a	70~100ℓ/10a
使用回数	1回	1回	1回

パン用小麦「はるみずき」の特徴と注意点

- ①ミナミノカオリに比べ、茎立期~出穂期の成長スピードが速く、出穂期は8日、成熟期は5日早い早生品種。
- ②生育前半の葉色はやや淡く、やや株が開く。③穂は白い。④穂数はやや少なく穂長は長い。
- ⑤稈長が低く、耐倒伏性にすぐれる。⑥うどんこ病耐病性については【中】。

基肥 分げつ肥 穂肥 実肥 (穂揃期~開花期4月上中旬頃)
窒素施用量 5 - 2 - 5 - **6** kg/10a

茎立期 (幼稈長2cm頃)



はるみずき

ミナミノカオリ

はるみずき穂肥時期
茎立期
2月下旬~3月上旬